

が発生する。そこで、バラストタンクを調整しながら、どのホールドからどのように積みつけるかを考える必要性が出てくる。①砂鉄混じりの水を流し込む②水を抜く③バラストを調整する—の3つの行程の組み合わせについて、日本郵船さんと協議を行いながら、あらゆる検討を行なった結果、最終的には、シンプルで効率の良い荷役パターンを考え出すことができた」

—短納期で建造したということで、設計陣の人員不足などの問題はありましたか？

「長崎造船所にとって、今回のようなオアキャリア船型の建造は十数年ぶりとなり、めったに建造しない船種の

新設計、しかも短納期という意味で、忙しかった面はあったが、最終的には大きな問題もなく建造を進めることができた」

—電子制御エンジンを搭載しています。

「主機については、最新技術のエンジンを使用したいという船主さんからのご指定で、MAN B&Wの電子制御エンジンを搭載した。日立造船（有明工場）さんから供給を受けたが、日立造船さんからのエンジン供給は長崎造船所として今回が初だった。主機は船を動かすことに直結する重要な機器なので、現場の品質管理部門と連携して工場監査に何度か行ったが、何も問題なく納入いただいた。今回の日立造船



甲板



## 祝 TAHAROA DESTINY 竣工

## 相浦機械製ハッチカバー搭載



**IKNOW MACHINERY CO., LTD.**

**DECK CRANE/ HATCH COVER/ UNLOADERS/ GANTRY CRANE**